

いつもそばに、  
変わらない安心を。



CORPORATE PROFILE



一人ひとりの“one”に寄り添い、  
未来へともに歩み続けていく。



## Brand Message ブランドメッセージ

とき  
時代をつなぎ、  
未来へ架け橋を――。

わたしたちは世代を超えて信頼される  
資産運用のパートナーとして  
お客さまの確かな未来を育んでいきます。



### 社章の由来

大きく羽ばたいている白い鳥は、丹頂鶴です。  
当社も、この鳥のように  
東洋を代表する企業にとの願いを込めています。

## Our Message ご挨拶

みなさまには、平素より東洋証券をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社は、1916年（大正5年）に創業し、本年、創業110周年を迎えることができました。  
100年以上にわたり、「信頼」「付加価値」「得意分野」の経営理念のもと、  
歩み続けてこれましたのも、当社とともに歩んでくださった  
お客さま、株主さま、地域の皆さま、および全てのステークホルダーの皆さまの  
長年にわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

110年という歴史の中で、社会や経済環境は大きく変化してまいりました。  
近年は、資産運用への関心の高まりやデジタル化の進展に伴い、  
お客さまのニーズも変化しております。私たちも、その変化に柔軟に対応しながら、  
より質の高いサービスの提供に努めてまいりました。

しかし、時代が変わっても決して変わらないものがありました。それは、私たちが  
何よりも大切にしてきた「**地域に根差し、お客さまとの信頼を築く**」という姿勢です。

当社にとって信頼は何にも代えがたい財産です。  
私たちはお客さま一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、人生や事業のパートナーとして、  
資産形成や資産承継などさまざまな課題に寄り添ってまいりました。  
地域密着だからこそ実現できるきめ細やかな対応と、長年培ってきた専門性を強みに、  
お客さまに安心と信頼をご提供し、価値あるサービスをお届けします。

今後も「人と人とのつながり」を大切にしながら、お客さまから「相談してよかった」と  
思っていただける存在であり続けるため、より一層サービスの向上に努めてまいります。

当社は長年にわたり培ってきた信頼を未来へつなぎ、  
地域の皆さまとともに歩み続けてまいります。  
今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、  
お願い申し上げます。

東洋証券株式会社 取締役社長 小川 憲洋



# Advantage 当社の強み

私たちは、真にお客さま本位の経営によって、世代を超えて信頼され、資産運用・資産形成のアドバイザーとして選ばれる「スーパー・リージョナル（地域密着型）・リテール証券会社」を目指します。私たちは、お客さまにとって最善の利益を追求する企業風土を確立いたします。



## 中国株のパイオニア

当社は、日本でいち早く中国株の取扱いを始めた「中国株のパイオニア」です。現在は、香港・上海・深センの3市場の取引に対応しており、当社専用ファンドを通じて、中国の新興企業向けの新たな株式市場「科创板」や「創業板」への投資も可能です。また、BRICSの登場から中国株投資を通じて、アジア諸国の経済変化へと目を向け、ASEAN経済圏やインド市場の商品ラインナップを充実させております。

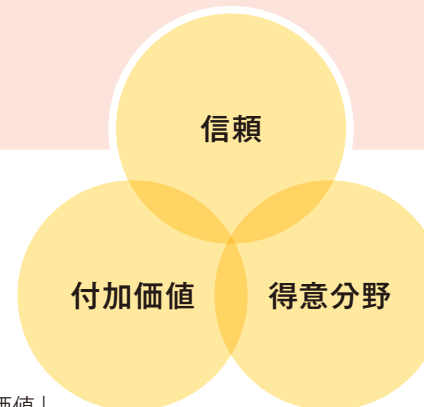
## 経営理念

当社グループは、「信頼」、「付加価値」、「得意分野」を経営理念とし、お客さまの満足度を高めるとともに、安定した収益構造と企業価値の増大を目指しております。



## 地域密着型の独立系証券会社

創業以来、特定の資本グループに属さない「独立系証券会社」として、また地域に深く根ざした「地域密着型のパートナー」として、質の高い金融サービスをご提供してまいりました。気軽に相談できる身近な存在であるために、柔軟な対応を行いお客さまのニーズに合った幅広い商品やサービスを提案しております。



## 投資スタイルに合わせた取引チャネル

(マルチチャネルサービス)

お客さまの多様なニーズにお応えするため、対面によるご相談・お取引に加え、電話やインターネットを活用したお取引環境を整え、お客さまの投資スタイルやライフスタイルに合わせて、適切な方法でご利用いただける体制を構築しております。

**電話で気軽に注文  
TO YOU コール**

こんな方に  
おすすめ

- 担当者が不在でも発注したい
- パソコン操作は苦手

**国内現物株式・中国株式発注専用ダイヤル**  
**0120-33-1040**  
※オペレーターによる投資のご相談はお受けできません。

**ネットでいつでもどこでも注文  
TO YOU ネット**

こんな方に  
おすすめ

- いつでもどこでも発注したい
- パソコン操作が得意

**申込受付や画面操作のサポート等**  
**03-5117-0003**  
※投資のご相談はお受けできません。

**これまで通り対面で相談 営業店**

こんな方におすすめ

- 相談しながら取引したい
- アドバイスが欲しい

**各支店へのお問い合わせ**  
**<https://www.toyo-sec.co.jp/company/branch/>**  
当冊子P.6にも支店情報があります

## カスタマーサービス

各種変更手続き 書類記入サポート 各種報告書照会 株価照会

各種お問い合わせ窓口でございます。お気軽にお問い合わせください。

※口座名義人ご本人さまに限らせていただきます。  
※カスタマーサービスでは必ずご本人さま確認をさせていただきます。

TEL **03-5117-0007**  
e-mail **info-cc@toyo-sec.co.jp**



# Strength

企業を支える力

人材とネットワークは、企業の成長を支える重要な基盤です。従業員が安心して能力を発揮できる環境づくりと地域、お客さま、パートナーとのつながりを大切に、持続的な成長を目指してまいります。

## 従業員への取組み



### ダイバーシティへの取組み

当社では、従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮でき、多様な視点による働きがいを感じられるような職場環境の構築を目指した、ダイバーシティの推進に取り組んでおります。

例えば、育児と仕事の両立を支援する「**育児短時間制度**」、子育て・介護を支援する「**時差出勤制度**」、女性活躍推進に向けた**女性管理職比率の目標設定とキャリア支援**、**外国人材の採用**、シニア層を対象とした「**定年後再雇用制度**」など、年齢、性別、国籍、経歴、

働き方に問わず、多様な人材が自らの強みを活かし、持続的に活躍できる職場環境の整備を推進しております。金融業務における専門性や対応力の向上を図るとともに、複雑化・多様化する顧客ニーズへの柔軟な対応を可能にしております。

今後も公正かつ透明性の高い採用とキャリア支援を通じて、多様性を尊重する組織づくりを継続してまいります。



### 従業員満足度向上に向けた取組み

当社は、お客さま満足度の向上はもちろん、従業員一人ひとりが働きやすく、やりがいを感じられる職場環境づくりに取り組んでおります。

資格取得やスキル向上を支援する**通信教育制度の提供**、**半期毎の表彰制度**、多様なサービスを利用できる**福利厚生プログラム**や**健康維持・増進を支援する制度**を導入いたしました。また、半期毎に従業員満足度調査および自己申告を収集し、会社全体や個別事情の把握にも努めております。

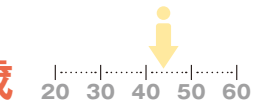
新入社員に対しては先輩社員が実務指導や精神的なサポートをマンツーマンで行う**BI制度**を従前から導入しており、社員同士のコミュニケーションの活性化と安心して働ける環境づくりに努めております。

## 数字で見る東洋証券

●従業員数：  
**632名**



●平均年齢：  
**43.3歳**



●平均勤続年数：  
**17.7年**



●女性の有給取得率：  
**100%**



●最年少支店長の年齢：  
**35歳**



●最年少課長の年齢：  
**31歳**



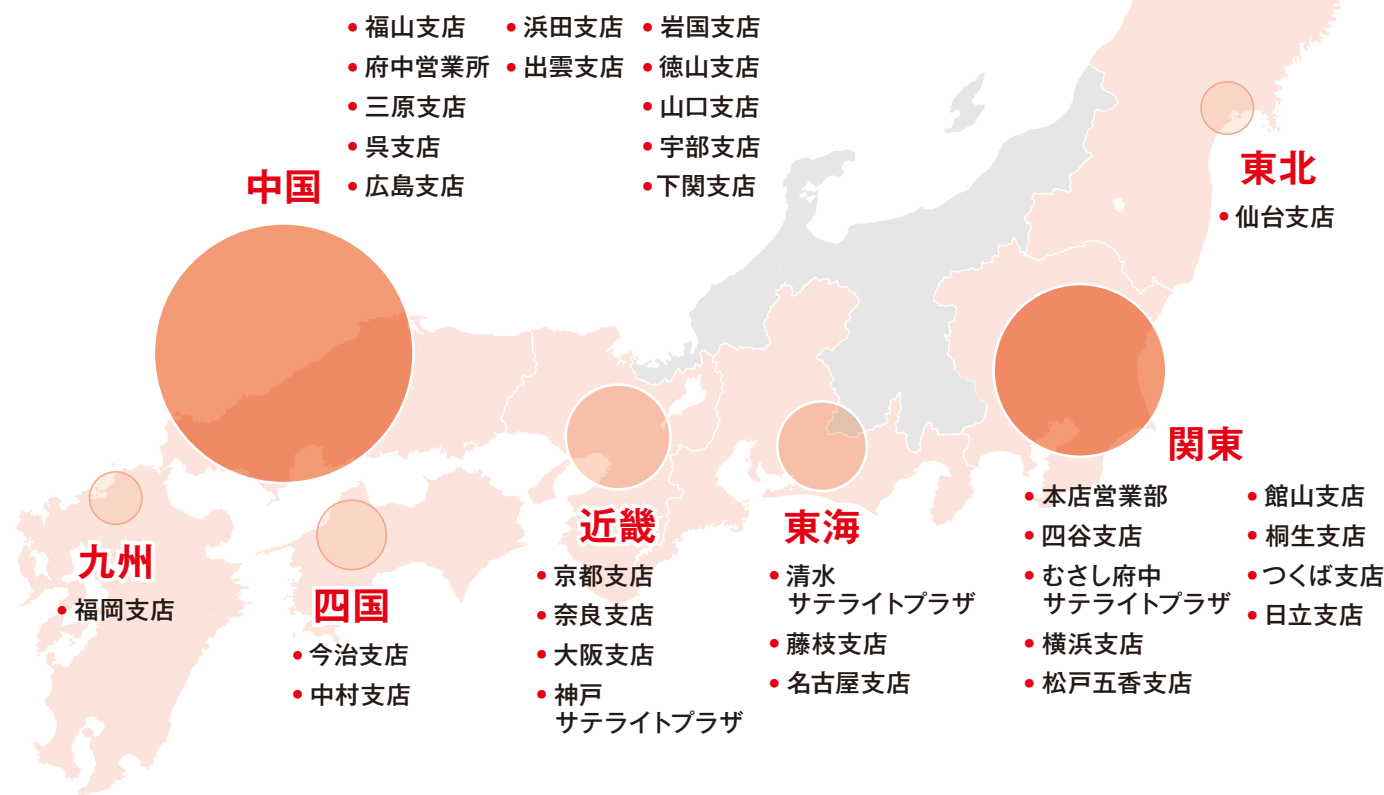
## ネットワーク

全国18都道府県に**33店舗**

※2026年3月31日時点 ※カスタマーセンター含む



香港に関連会社の  
**東洋証券亞洲有限公司**があります。



# Sustainability

社会・地域への取り組み

110周年記念事業や地域貢献活動、サステナビリティへの取り組みを通じて、持続可能な未来の実現に貢献しております。



## 当社における具体的な取り組み事例

| 当社の活動                                                                                                                                                                      | ESGとの関連               | SDGsとの関連                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>冷暖房温度の適正管理</li><li>営業車両の低燃費化</li><li>自然エネルギーの購入</li><li>SDGs株式ファンド、SDGs債等の取扱い</li><li>複合機の削減</li><li>照明の節電</li><li>ペーパーレス化</li></ul> | E:環境<br>(Environment) | <div>7 エネルギーをみんなに<br/>そしてクリーンに</div> <div>13 気候変動に<br/>具体的な対策を</div> <div>15 陸の豊かさも<br/>守ろう</div> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>フードバンクへの寄贈</li><li>CLOSED Martの利用促進</li></ul>                                                                                        | S:社会<br>(Social)      | <div>1 貧困を<br/>なくそう</div> <div>2 飢餓を<br/>ゼロに</div> <div>3 すべての人に<br/>健康と福祉を</div>                 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>安否確認制度の導入</li><li>非常食や水の完備</li><li>防災セットの設置</li></ul>                                                                                |                       | <div>11 住み続けられる<br/>まちづくりを</div> <div>13 気候変動に<br/>具体的な対策を</div>                                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>金融教育への取り組み</li><li>階層別研修の実施</li><li>資格取得支援制度の導入</li><li>通信教育制度の導入</li></ul>                                                          |                       | <div>4 質の高い教育を<br/>みんなに</div>                                                                     |

| 当社の活動                                                                                                                                                           | ESGとの関連                 | SDGsとの関連                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>コーポレートガバナンスの強化</li><li>コンプライアンスの徹底</li><li>リスク管理体制の整備</li><li>お客様本位の業務運営</li><li>BCP(事業継続計画)</li><li>社外役員の独立性確保</li></ul> | G:ガバナンス<br>(Governance) | <div>16 平和と公正を<br/>すべての人に</div> <div>17 パートナシップで<br/>目標を達成しよう</div>                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>地域清掃・ボランティア活動</li><li>災害時支援</li></ul>                                                                                     | S:社会<br>(Social)        | <div>11 住み続けられる<br/>まちづくりを</div> <div>13 気候変動に<br/>具体的な対策を</div> <div>15 陸の豊かさも<br/>守ろう</div> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>働き方改革<br/>(ビジネスカジュアル導入等)</li><li>ワークライフバランス支援<br/>(リフレッシュ休暇・子育て支援制度等)</li><li>健康経営への取り組み</li></ul>                        |                         | <div>3 すべての人に<br/>健康と福祉を</div> <div>5 ジェンダー平等を<br/>実現しよう</div> <div>8 働きがいも<br/>経済成長も</div>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>AI推進プロジェクトの設置</li><li>WEB取引環境の整備</li><li>デジタル研修の実施</li></ul>                                                              |                         | <div>8 働きがいも<br/>経済成長も</div> <div>9 産業と技術革新の<br/>基盤をつくろう</div>                                |

## ムーミンバレーパークとのスポンサー契約



株式会社ムーミン物語が運営しているムーミンバレーパークとのスポンサー契約を締結いたしました。



## 広島東洋カープへの応援



2026年4月17日にマツダ スタジアムで開催されたJERAセントラル・リーグ公式戦広島東洋カープ 対 横浜DeNAベイスターズに冠スポンサーとして協賛いたしました。



## 日本野鳥の会の法人会員入会

「公益財団法人日本野鳥の会」に法人会員として入会いたしました。自然と人間との一体的共存の実現を模索する「自然環境保全」の考えに賛同しております。



## グリーン・パートナー事業への協賛

広島市にて、市民や観光客の皆さまに四季折々の花や緑を楽しんでいただくことを目的とした「グリーン・パートナー事業」に参画しております。



## デコ活 宣言

環境省が推進する、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」に賛同し、「デコ活」宣言を行いました。省エネルギーや環境配慮を意識した取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献しております。



## 広島ドラゴンフライズとパートナーシップ契約

広島県広島市をホームタウンとするプロバスケットボールクラブ「広島ドラゴンフライズ」とパートナーシップ契約を締結いたしました。



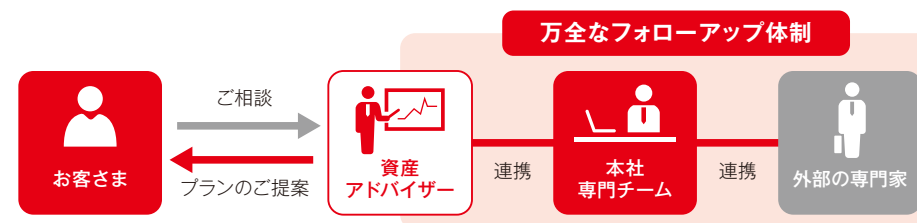
## 大相撲 懸賞旗の掲出

大相撲において懸賞旗を掲載しております。日本の伝統文化である大相撲の発展を支援するとともに、持続的なCSR(企業の社会的責任)活動に取り組んでおります。

# Wealth Management Service

ウェルスマネジメントサービス

資産アドバイザーが時間をかけてヒアリングすることにより、お悩みや課題、ニーズを引き出し、本社専門チーム・外部の専門家と提携し、特別なプランを創り上げます。資産運用に留まらず、税務や相続、不動産管理等のご相談にも対応。お客さまの人生に寄り添い、質の高い包括的なサービスを提供します。



## 当社が提供できるソリューション



### 生命保険

相続対策や介護、年金、事業保障ニーズ等に対し、大手保険会社供給の保険商品を通じて、最適な保障プランをご提案します。



### 資産承継

相続や贈与に関するご相談に対応し、大切な資産を次の世代へスムーズに引き継ぐための最適なプランをご案内します。



### 事業承継

後継者問題やM&A等、事業の引き継ぎに関する課題に対し、状況に応じた承継方法をご案内し、円滑なバトンタッチを支援します。



### 資産運用

お客さまの目的やリスクに応じた運用プランをご提案し、安定的な資産形成をお手伝いします。

## フィンテック グローバル株式会社と業務提携

個人・法人のお客さまへ同社がもつ様々なソリューションを提供しながら、お客さまサービスの充実と課題解決を通じて、より良い未来の実現を目指します。



### 不動産小口化商品

特定の不動産を小口化し、不動産の賃料収入や売却益を出資者に分配する金融商品です。



### オペレーティングリース

投資家から資金を集めたファンドが、購入したトラック等をリースする事業の損益を、投資額に応じて出資者に分配する金融商品です。



### M&A

企業の成長戦略や事業承継、再編等を目的として行われるもので、経営課題の解決や新たな価値創出の一つの選択肢として活用されています。

# Corporate Profile

会社概要・沿革

## 会社概要

※2026年3月31日現在

|                     |                                            |
|---------------------|--------------------------------------------|
| 商 号                 | 東洋証券株式会社<br>TOYO SECURITIES CO.,LTD.       |
| 登録番号                | 関東財務局長（金商）第121号<br>（第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業） |
| 加入している<br>金融商品取引業協会 | 日本証券業協会、<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会             |
| 創 業                 | 1916年（大正5年）12月                             |
| 設 立                 | 1934年（昭和9年）4月                              |
| 本 社                 | 〒104-8678 東京都中央区八丁堀4-7-1                   |
| 電話番号                | 03-5117-1040（代表）                           |
| 店舗数                 | 33店舗                                       |
| 資本金                 | 134億9,468万7,500円                           |
| 発行済株式総数             | 73,877,569株                                |
| 従業員数                | 632名                                       |
| 決算期日                | 毎年3月31日（年1回）                               |

## 沿革

|           |                                                                      |           |                                                             |
|-----------|----------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------|
| 1916年 12月 | 広島県呉市に証券業を目的とする<br>斉藤正雄商店（広島証券の前身）創業                                 | 1998年 12月 | 証券取引法の改正に基づく<br>登録を受ける                                      |
| 1934年 4月  | 広島株式取引所員斉藤正雄商店の<br>現物部を独立して、<br>広島証券商事株式会社を設立し、<br>本店を広島県広島市に置く      | 2005年 5月  | 東洋証券亜洲有限公司が<br>香港証券取引所取引参加者資格を<br>取得する                      |
| 1947年 7月  | 商号を広島証券株式会社に変更                                                       | 2005年 8月  | 本店を東京都中央区日本橋から<br>東京都中央区八丁堀に移転する                            |
| 1967年 3月  | 高井証券株式会社と合併し<br>広島高井証券株式会社へ変更、<br>本店を東京都中央区日本橋に置く                    | 2007年 9月  | 金融商品取引法に基づく第一種<br>金融商品取引業の登録を受ける                            |
| 1968年 4月  | 証券取引法の改正に基づく証券業の<br>免許を受ける                                           | 2008年 5月  | 中国上海市に駐在員事務所を開設する                                           |
| 1971年 12月 | 商号を東洋証券株式会社へ変更                                                       | 2018年 1月  | 第二種金融商品取引業の登録を受ける                                           |
| 1984年 4月  | 資本金を31億500万円に増資し、<br>総合証券となる                                         | 2022年 4月  | 東京証券取引所の<br>市場区分の見直しにより、<br>東京証券取引所プライム市場へ移行                |
| 1986年 6月  | 資本金を59億2,500万円に増資し、<br>東京証券取引所第二部、<br>大阪証券取引所第二部ならびに<br>広島証券取引所に株式上場 | 2024年 12月 | 中国上海市の上海駐在員事務所を閉鎖                                           |
| 1987年 10月 | 香港に現地法人<br>東洋証券亜洲有限公司設立<br>（現 連結子会社）                                 | 2025年 5月  | フィンテックグローバル株式会社と<br>業務提携契約を締結                               |
| 1988年 3月  | 東京証券取引所第一部、<br>大阪証券取引所第一部に指定替される                                     | 2026年 1月  | 株式会社ダブルチェックを子会社化                                            |
|           |                                                                      | 2026年 4月  | 子会社である<br>株式会社ダブルチェックの商号を<br>「東洋リサーチアドバイズ株式会社」に<br>変更し、本店移転 |



お客さまの信頼がすべて。